

# かわら版



かかれ！名東 鬼柴田隊  
<http://onishibata.katsu-ie.com/>



☆・・・我らの領地（名古屋市名東区）

## 問い合わせ

下記のメールまたは、公式サイト内の問い合わせフォームから宜しくお願致します。

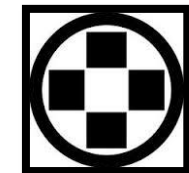
Mail: [oni-shibata@excite.co.jp](mailto:oni-shibata@excite.co.jp)

公式サイト: <http://onishibata.katsu-ie.com/>



名前: 毛受 勝照  
読み: めんじょう かつてる  
出身: 尾張国春日井郡稲葉村  
【柴田家家臣】

元は柴田勝家の小姓で、後に「小姓頭」にもなっている。成人してからは柴田勝家の配下として活躍、織田家が伊勢長島を攻めた際には、敵に奪われた柴田軍の馬印(大将の旗)を敵陣に突入して奪還し、柴田勝家を大いに喜ばせた。「本能寺の変」の後に柴田勝家と秀吉が戦った「賤ヶ岳の戦い」では、敗北した柴田勝家に城に退却するよう進言し、そして柴田勝家の馬印をつけて勝家の身代わりとなってしんがり役を務めて奮戦、勝家が撤退する時間を稼いだ後、戦死した。



名前: 太田 牛一  
読み: おおた ぎゅういち  
出身: 尾張国春日井郡山田荘安食村  
【末森衆】

柴田勝家の元にいたが抜擢され、織田信長の直臣になり、政治手腕を発揮。『信長公記』等の軍記物を記した事でも有名だが、実は信長の祐筆はしていない。武にも優れ、信長に「弓三張」と言われる名人で、金ヶ崎撤退戦において優れた用兵術で信長に褒められたと『信長公記』は記す



勝家が最後をたてまつる。

兵を返す時はその退き口大切の場合、

かならず先陣をつとめ、城を攻め、

## かかれ！名東 鬼柴田隊とは？

今からおよそ約 500 年前。室町政権が弱体化、群雄割拠の混乱した時代の始まりである。

乱世を駆け抜けた偉大な武将達の中で、名古屋市出身者が多くいる。中村区には豊臣秀吉、中川区には前田利家、中区には織田信長、西区には丹羽長秀、北区には平手政秀、ほとんどの武将は名古屋市の中心から西側出身者が多い。

だが名古屋の東側の玄関と呼ばれる名東区にも世に生き様を示す為に戦国乱世を生きた武将が存在した。

その名は **【柴田勝家】**

勝家は尾張国愛知郡上社村(現:愛知県名古屋市名東区)で生まれ、若い頃より織田信秀(織田信長の父)の家臣となり、下社城(現:愛知県名古屋市名東区)城主、尾張国愛知郡下社村(現:愛知県名古屋市名東区)を領した、信秀の死後、織田信雄(織田信長の弟)の家臣として仕えたのち、戦国最強の武将【織田信長】の家臣となり、織田家の筆頭家老として共に天下布武を掲げ日本の歴史を築き上げた。

歴史を彩る戦国の武人たちは皆、ここ尾張地方から誕生している。

今まさに戦国時代の時を経て現代に蘇る、『かかれ！名東 鬼柴田隊』名古屋市名東区の魅力と文化を皆と共に天下に伝えましょうぞ！

当団体は名東区生涯学習センターにてなごや学マイスターの【柴田勝家をアピールし隊】の講座を修了したメンバー達により、名古屋市名東区教育委員会後援により平成26年9月に発足したボランティア武将隊です。

## 武将紹介



名前: **柴田 勝家**

読み: しばた かついえ

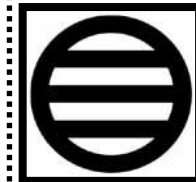
出身:尾張国愛知郡上社村

【北陸方面軍 総大将】

「かかれ柴田」「甕割り柴田」

などの異名を持つ家内きつての猛将。え当初は信勝派だったとされ、信長と対立する事もあった。後に和解し、勝竜寺城の戦いなどで活躍した。信長の死後に羽柴秀吉と対決するが、賤ヶ岳の戦いで敗北、自害した。猛将のイメージが強いが国内統治にも優れており、彼が治めていた越前方面では名君として名高い。

本能寺の変後は信長の妹・お市の方を正室に迎えるが、この二人の関係はもろもろの創作の格好の題材になっている。



名前: **佐久間 盛政**

読み: さくま もりまさ

出身:尾張国御器所

【柴田家 一門】

柴田勝家の甥。電撃戦を得意とする猛将で、若くして織田家の北陸方面で活躍。その武勇から「鬼玄蕃」の異名をとった。柴田勝家が越前の国主になると、盛政は寄騎として柴田勝家を支えた。その後は加賀一向一揆や上杉家との戦いで活躍し、信長から加賀の統治を任された。賤ヶ岳の戦いでは先鋒として奮戦するが、前田利家の裏切りを受け敗北。戦後、囚われた盛政を秀吉は家臣に取り立てようとしたが、盛政は降伏を拒否して処刑された。